

いざ、というとき 助けあえるなかま



日本赤十字社、いわゆる「日赤」。主に、災害時の活動や救急法、献血推進事業でこの名前を見聞きする方が多いのではないのでしょうか。そんな日赤の活動を支えるボランティアの存在をご存じですか。今回は芝山町の日本赤十字奉仕団の活動をのぞいてみましょう。

日本赤十字千葉県支部
芝山町赤十字奉仕団

赤十字ボランティアには、各市町村ごとに組織された「地域奉仕団」、おおむね18〜30歳の社会人や学生などで組織された「青年赤十字奉仕団」、さまざまな専門技術や職業を生かして活動する「特殊赤十字奉仕団」の3つの種類があります。

芝山町での奉仕団活動

芝山町赤十字奉仕団では、赤十字の活動に富んだ活動を推進する運動「一日赤十字」を開催し、非常食炊き出し

連携と活躍する 赤十字ボランティア

赤十字ボランティアの歴史は古く、明治20年に設立された「日本赤十字社篤志看護婦人会」が始まりだと言われています。



▲奉仕団の次なる可能性を模索する山口さん

訓練や避難所で使えるグッズ作り体験、三角巾による包帯法の実技研修を実施しています。そのほか、寄付金募集活動や赤十字活動の広報啓発として、はにわ祭りにブースを設け、広報活動しています。

活動を通じて広がる ひとつの絆

「いざというときは助けあう、その気運を高めるのが奉仕団だと考えています」と、語る奉仕団委員長の中口栄子さん。

「活動を通して得た知識は、大切な人を助ける力になり、奉仕団で出会ったなかまの存在はかけがえのないものになります」

困ったときはお互い様、そんな共通の思いのもとに集つ

たなかまの絆が奉仕団の原動力なのかもしれません。

赤十字救急法

フェスタで活躍

10月17日千葉公園スポーツ施設KOFUSアリーナにて、赤十字救急法フェスタ2025が開催されました。地域の安心・安全な社会づくりを目指し、日々の生活における事故防止の意識を高めることを目的とし、いざという時に活かせる救命および応急

手当の知識と技術の向上を目指すこの大会に、芝山町赤十字奉仕団5名が参加しました。

知識と技術を最大限に発揮

大会では、三角巾を用いた包帯法（三角巾による手当）の実技を実施。傷病者役1名、救助者役3名の合計4名で行いました。各救助者役は指定された部位、頭・腕・膝の手当てを制限時間内にいかに正確に処置できるか競います。



▲日頃の成果を発揮します

競技開始まで参加者は自身がどの部位を担当するかわからないため、奉仕団のみなさんは当日、どの部位にも対応できるように大会直前まで練習を重ねて大会に挑みました。

つなぐチームプレー

手にした優秀賞

結果は見事、優秀賞。日頃の練習の成果が実を結んだ瞬間です。

「はじめてこういった大会に参加したので、最初は本当に緊張しました」と、語る奉仕団のみなさん。

芝山町奉仕団は救急法フェスタにおいてその正確な技術を評価され、三年連続優秀賞に輝く強豪チーム。毎年チーム編成は入れ替えられるので、初めて大会に参加する方や、チーム内で初対面になる方もいるのだとか。

「ほかの奉仕団さんのチームの応援に圧倒されたけど、自分たちのペースで取り組みました」

競技中、傍らにいた審査員に「丁寧ですね」と声をかけられた時は、嬉しかったと話す奉仕団メンバーのおひより。



▲互いに活動を報告することで新たな発見も

やすいよう浅く腰掛けるなどして、気を配りました」とのこと。お互いに思いやり、助けあう素晴らしいチームプレーに、脱帽です。

交流でさらに

活動に意欲が

大会を機に、さらに仲が深まった様子の奉仕団のみなさんに、今回のフェスタで印象に残ったことを伺ったところ「競技のほかに、各奉仕団の活動を紹介する奉仕団交流会があったんだけど、ほかの市町村の奉仕団さんの生の声を聞ける機会ってなかなかないから良かった」とお答えいただきました。

「競技で使う三角巾の裾が床に着かないように注意を払ったの。だって、実際にけがをしている人に使うんだって考えたら、清潔なものを提供しないといけないじゃない」なるほど、小さな気配りの積み重ねが、大きな結果につながるのだと感じ入りました。また、傷病者役の奉仕団メンバーの方からは「気をつけたいのはイスに腰掛ける時。手当をしてくれる相手が作業し

防災・減災活動や救急法の普及などその地域に特化した活動を行う赤十字奉仕団。いざという時に役立つ知識や技術を身に着ける大切さだけでなく、「誰かを助けたい」という思いを通して、人が人とつながり、思いやることの尊さを改めて学びました。



わたしにできることがあれば

フードバンク



多数の食品を提供



毎年、フードバンクに新米をご提供いただいている堀越幸一さん(高田東)にお話を伺いました。「フードバンクを知ったのは、テレビで紹介されていたのがきっかけでした。本当に気持ちだけなんです、自分にできる範囲で誰かのお役に立てたらなと思って続けています」と、話す堀越さん。

「お米は毎日食べる物ですから、困っている人はこのご時世たくさんいると思います。可能な限り、お力になれたら」

近隣の生活支援機関などにもお米を提供したこともあるという堀越さん。提供する中で、食べる物がなくて困っている人の存在を身近に感じることもあるのだそう。

食へることは「いのち」に直結すること。身近にある食品が誰かのいのちをつなぐ支援に結び付いているというごことを堀越さんのお話を通じて、改めて考えさせられました。

社会福祉協議会では、フードバンクちば・フードバンクさんぶに協力し、福祉センターにブースを設けて様々な理由により廃棄されてしまう食品・食材を募っています。

今回、成田空港警備株式会社さまより、多数の食品をご提供くださいました。いただいた食品は、福祉関連施設や公的な支援窓口を通じて、生活に困窮している方々に提供されます。

いんふおめーしょん

令和8年度 芝山町社会福祉協議会 非常勤職員募集

職種：用務員職（1名）

【応募資格】普通自動車免許を持ち、福祉センター内外の清掃、開閉門、施設の小規模営繕等ができる方。学歴を問わない。

【雇用条件】労働時間：1週につき30時間、賃金：月給151,370円、昇給・賞与あり、退職金：なし、社会保険：加入、休日：週2日（シフト制）・祝日、通勤手当・有給休暇：有（規程により付与）

職種：福祉作業所指導員職（2名）

【応募資格】普通自動車免許を持ち、障害を持つ方への作業指導補助ができる方。学歴を問わない。

【雇用条件】労働時間：1週につき28時間以内、賃金：時給1,201円、昇給・賞与：あり、退職金：なし、社会保険：加入、休日：土日・祝日（他シフト制による）、通勤手当・有給休暇：有（規程により付与）

募集受付 令和7年12月1日(月)～令和8年1月31日(土)
 採用予定日 令和8年4月1日
 試験内容 書類審査、面接
 問合せ 芝山町社会福祉協議会 Tel. 0479-78-0850
 担当：菅井

敬老お祝い商品券をお送りしました

令和7年度の敬老お祝い事業では商品券をお送りしました。

お祝い品は9月中に敬老者のみなさまのお手元に届くよう、ピンク色の封筒で郵送させていただきました。

商品券の使用期限は令和8年2月28日(土)です

お問い合わせ先 芝山町社会福祉協議会
☎0479-78-0850

ご不要なタオル、いただけませんか？

福祉作業所では、お寄せいただいたタオルを台ふきんに加工し、販売しています。台ふきんは大好評、現在はタオルが足りません。ご家庭に未使用のタオルがございましたら、ご寄付ください。



谷本道哉先生による記念講演

「いつまでもいきいき元気に！
健康寿命を延ばす簡単筋トレ法」

芝山町制施行70周年

芝山町社会福祉大会開催

芝山町制施行70周年の節目に立ち、改めて住民と社会福祉関係者が一堂に会し、安心して暮らせる町づくりに一層の努力を誓い、社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すため、第12回芝山町社会福祉大会を開催します。どなたもご自由に参加ください。

日時 令和8年2月15日（日） 午後12時30分から受付

会場 やすらぎの里 講習室

大会内容 大会宣言の採択、福祉功労者表彰などの式典や、小中学生による「福祉に関する作文標語ポスターコンクール」入賞作品の掲示・紹介など

記念講演 「みんなで筋肉体操」でおなじみの、谷本道哉先生による記念講演を予定しています。

芝山町社会福祉協議会

☎0479-78-0850

福祉センターで実施している「いきいきライフ調理実習教室」は、減塩・低カロリーメニューで、生活習慣病の予防と改善をねらいとしています。その秘伝のレシピを講師の栄養士がご紹介！



いきいきライフ 秘伝レシピ

その48

サンラータン 酸辣湯



材料 (4人分)

豆腐(絹)	150g
エノキ	100g
キクラゲ(乾燥)	3g
卵	1個
鶏がらスープの素	大さじ1
しょうゆ	大さじ1/2
酒	大さじ1
塩	小さじ1/4
コショウ	少々
米酢	大さじ2
かたくり粉	小さじ2
水	小さじ4
万能ねぎ	4本
ラー油	適宜

【作り方】

- ① キクラゲは水で戻し、細切りする。
- ② 鍋に水700ml入れ、鶏がらスープの素、酒、キクラゲ、エノキ、しょうゆ、塩、コショウを加える。
- ③ 豆腐はさいの目に切って加え、水溶き片栗粉を加える。
- ④ 卵を流し入れる。
- ⑤ 米酢を入れ、小口切りした万能ねぎを加える。
- ⑥ 好みで、ラー油を加える。

ワンポイント

酸辣湯(サンラータン)は寒い季節にぴったりの、体が温まるスープです。きのこ類や、豆腐、卵を具として入れてとろみを効かせ、アツアツのところへ仕上げに酸味と辛味のラー油、コショウを加えることで香りが広がります。(生姜を刻んでのせてもより温まるでしょう。)ラー油の代わりにごま油を入れてもマイルドになります。





図書室だより やすらぎ☆ブック best 3

図書担当が選ぶおススメ図書！

1位

「じぶんのことは おしえちゃダメ！
ネットのきけんからみをまもるえほん」

石塚ワカメ 高橋暁子（監修）（幻冬舎）



幼児～小学校低学年がネットの危険やマナーを学べる絵本。専門家監修で実際のトラブル例を交え、「知らない人とのやりとり」「写真送信」「課金」などの疑問に子ども自身が考えて答えを見つけられます。クイズや迷路、チェックリスト付きで楽しく理解が深まります。

2位

「そして少女は加速する」

宮田珠己（著）（幻冬舎）



バトンミスで夢を絶たれた女子高校リレーチームが、挫折から再び立ち上がる。怪我や校則違反、恋愛や将来の悩みなど多くの試練を乗り越え、再びインターハイを目指す――。100分の1秒に青春を懸けた、涙と感動の陸上青春小説。

3位

「風になるにはまだ」

笹原千波（著）（東京創元社）



病や障害で肉体を持ってなくなった人々が〈情報人格〉として生きる近未来。情報人格の小春は、一日だけ若い大学生の体を借り、現実世界で再び特別な時間を過ごす。第13回創元SF短編賞受賞作を含む、生命と存在を描く感動のSF短編集。

図書室からのお知らせ

図書室は午前9時から午後5時まで開室しています。貸出は一人5冊まで、期間は1カ月（新着図書は2週間）です。本を借りるには、利用カードが必要です。



弁護士法律相談予定

福祉センターにおいて弁護士による無料相談を行っています。相談は1名(組)30分です。予定日は

12月23日(火)・1月27日(火)・2月24日(火)

です。利用希望の方は事前予約が必要です。

ふくし駆け込みテレホン ☎0479-78-0526

ふくしに関するなんでも電話相談、随時受け付けています。平日9:00～17:00

ふくし行事予定

12月

- 1日 歳末たすけあい運動開始
- 1日 まごころの輪132号発行
- 2、18日 給食サービス
- 5日 ミニ・デイサービス
身体障害者ミニ・デイサービス
- 18日 はなさくサロン
- 21日 地区社協合同研修会

1月

- 6、20日 給食サービス
- 8日 はなさくサロン
- 中旬 ミニ・デイサービス
- 下旬 ボランティア講座
- 下旬 身体障害者ミニ・デイサービス

2月

- 3、19日 給食サービス
- 3日 ミニ・デイサービス
- 8日 ひとり暮らし高齢者・
身体障害者新春寄席招待会
- 12日 はなさくサロン
- 15日 第12回芝山町社会福祉大会

毎月中旬 目の不自由な方へ声の広報発行

毎月下旬 ひとり暮らし高齢者誕生日祝い

福祉センター休館日のお知らせ

毎週月曜日と祝日（祝日が日曜日に当たる場合は開館します）

12月 1・8・15・22・28～31日

1月 1～5・12・13・19・26日

2月 2・9・11・16・23・24日

お寄せいただいたご浄財は、地域の福祉のために有効に活用させていただきます。

- 匿名様 花苗多数
- 匿名様
- 小林悦子様（印西市）
グラウンドゴルフ用品多数
- 匿名様 廃油多数
- 土屋たつ様（飯櫃）
タオル多数
- 匿名様
- 匿名様
- 石井克子様（小池4）
200,000円
- 匿名様

善意
ありがとうございます

編集後記

▼昨年よりも暑かった夏。花の香りが秋を連れてきてくれたと思ったら寒さに突入。免疫力を高めてこの冬を乗り切りたいですね。ひかり

▼骨を作る鉄やマンガン。根元に豊富に含まれるほうれん草。根元の赤に葉の緑天ぷらの白い衣を纏えばさあ！メリークリスマス！**コマちゃん**

▼ラジオから年をとったら教育が必要だと聞こえてきた。今さらと思うと「今日行く」ところがあるかということだそう。笑ってしまった。

ちやん

▼初めて研修会に参加し、他の方の活動の話聞き、大きな問題がない地域を担当する自分にとって刺激と感銘を受けました。**カフェ・オレ**

▼少し前まで三世代同居で、お互いを見守るまなざしと手助けがあった。現在核家族の時代となったが孫世代にくわぐ絆を大切に思う。**向日葵**

▼「サウナ」以前は苦手でしたが今は仕事の疲れを取り、癒しになっています。水風呂の後は何とも言えない心地よさ。

森のくま